

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和2年11月2日



「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

ことばの発達

- 適正な時期によりよい支援を -

来年度の入園にむけて、今年も親子面接を行いました。毎年、入園選考でよく聞くことは「言葉が少し遅いのではないかと心配しています。」です。この時期は特に、発達の個人差が大きく、他のお子さんとは比べて心配されている場合が少なくありません。

その心配ごとを共有しながら、重要な3歳児期を過ごしていきたいと考えています。

結果として、心配していたけれど大丈夫だった場合もあれば、幼稚園での集団生活になるとその心配ごとが明らかに増えてくる場合もあります。

その際には、保健所などの関係機関で相談を受けて少しでもよりよい支援の方法を得られるようにと、お話をいただいています。

なぜなら、この3歳から5歳にかけるとは、ことばの発達という面は言うまでもなく、「生涯にわたる人格形成の基礎を培う」という極めて重要な時期にあたり、この時期を逃すと、小学校以降でお子さんがより苦労するケースも珍しくないからです。

そのため、今日、幼児期の教育では、早期に適正な支援を行い、よりよい発達を促すことが重視されています。また、その支援方法も充実しており、その支援をうまく活用してもらえるケースも年々増加してきました。

園では、保護者の皆さまとの「共に育てる」関係づくりを進めながら、子どもの最善の利益のために、適正な時期を逃さないようにと考えています。

いつでもご相談ください。



保護者の皆さまからのお声に

励まされています！

～ ありがとうございます ～

朝夕めっきりと冷え込む季節となりました。日中との寒暖差に体調を崩さないように、ご注意ください。

さて、さる10月12日(月)実施の運動会では、皆さまからのご協力により、無事に終えることができました。改めまして御礼申し上げます。

今年は、感染症拡大防止のためとはいえ、実施方法を大幅に変更せざるをえませんでした。皆さまには本当によくご理解とご協力をいただき、有難く思っております。

その上、先日、ある保護者(年少児)の方から、「園長先生、運動会をどうもありがとうございました。もう感動しました！」とお声をかけていただきました。「今年は参観日もできない状態ですので申し訳なく思っています。」とお答えすると、「いえいえ、子どもたちの楽しそうな姿に胸がいっぱいになりました、本当にありがとうございます。」とお話くださいました。当たり前のご協力として終わらせず、きちんとご挨拶される保護者の方からは、反対に教えられる思いがいたしました。



また、ある保護者の方(年少児)からは、「先生たちはいつもにこにこやねんで！」とお子さんがお家で嬉しそうにお話してくれているとのこと。「マスクをされているのに、子どもがそう言います。幼稚園が大好きになってくれて本当に嬉しいです。」ともお聞かせいただきました。



早速、教職員たちにこのお話を伝えました。「まなざし」と「目つき」では大きな違いがあり、保育者が併せ持つべきものは「まなざし」であろうと。子どもを理解しようとするその心からは「温かなまなざし」が注がれ、保育の基本である、「保育のこころ」は、たとえ幼い子どもであっても敏感に感じ取っています。マスクを着用している分、まなざしを意識して、これから子どもたちに向き合っていきたいものです。

このように、大切なことに気付かせていただける保護者の皆さまからのお言葉は、大変有難く、励みにしてまいります。

「駐車・停車」に対するご協力

- ありがとうございます -

先日、学園付近での「駐車・停車」に関するルールの遵守やモラルの向上について、お願いしましたところ、保護者の皆さまには速やかにご対応いただき、心から感謝しております。今後とも引き続き宜しくお願いいたします。

なお、『はるやま』店の駐車場を横切る姿が見られますが、公道を通過して安全な「通園」をお子さんにお教えいただきますよう、重ねてお願いいたします。

